



七里っ子

道志小学校 学校だより 令和7年3月25日

【学校教育目標】

確かな学力 豊かな心
健康な体 郷土愛

文責：校長 佐藤龍文

1年間ありがとうございました！

長かった令和6年度が今日で終わりました。世界や国レベルで見ると世の中はインフレなど落ち着かないことが多い一年でした。学校での生活を振り返ってみると、教育活動は、ほぼ予定通り実施することができ、とても充実していたと考えています。これは、一人ひとりのお子さんが素直に頑張り、保護者の皆様が温かい眼差しでしっかりと支えてくださったお陰です。日々、子ども達の様子を見てみると、心身共に大きく成長したことを実感しています。授業における姿、行事での姿、給食や掃除など、様々な場面でそれぞれの学年が発達の段階に応じてできることが増え、逞しくなりました。嬉しそうに子ども達のことを語る職員との会話は、私自身にとっても有り難く、幸せな時間でした。子ども達のために一生懸命工夫し、献身的に努力してきた全職員にも感謝しています。

以前からお伝えしてきましたが、今、日本の教育は大きく変わりつつあります。インターネットを通じて、国民同士が多様な教育観を交流することによって、子どもにとってどのような教育が必要なのか、あるいは必要ないのかが議論されています。学校で進めているICT教育でさえ、世界的には教育効果に多くの意見があるのが現状です。学校は様々な情報を収集しつつ、子ども達によりよい教育を考え、実践することが求められると思います。

右の写真は、子ども達が造った雪山が、富士山へと連なっていく様子です。小さな夢が大きな夢へとつながることを象徴しているような素晴らしい環境の中で、今後も健やかに成長してほしいです。

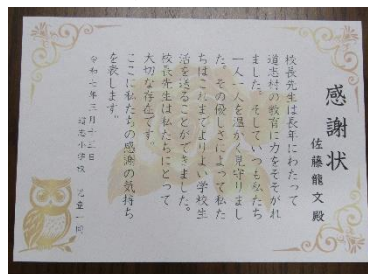


子ども達への感謝と共に～教員という仕事～

私事になりますが、先日、児童会長の佐藤風花さんから「感謝状」をいただきました。全校児童と職員が集まってくれて行われた全くのサプライズでした。本当に驚いたのですが、改めて教員という仕事を続けてきてよかったと感じました。教員は、子ども達を教え導くことを仕事内容としていますが、実は、子どもの成長という感動的な場面に間近で触れられる素晴らしい仕事です。勿論、様々な課題もあり、全てが思うとおりに進むわけではありません。そんな中でも子ども達と、保護者の皆さんと、地域の方々と、そして、同僚と共に悩みながら、少しでも子ども達が幸せを感じて健やかに成長できるようにと努力できるのは、本当にやりがいのある仕事であり、価値のある仕事だと感じています。

この度、役職定年を機に教育現場から離れることになりました。教員生活36年のうち、道志村で22年間勤務させていただきました。自分の原点であり、故郷である大切な道志村で長い時間仕事ができただけには感謝しかありません。村に育てていただいたご恩を忘れず、これからも村の宝である子ども達のために何らかの活動ができたらと考えております。最後に、関わってきた子ども達を始め、未熟な私を支えてくださった皆様に心から感謝の言葉をお伝えしたいと思います。

「今まで本当にありがとうございました。」



今後も学校教育へのご協力をお願い致します

今年度から学校運営協議会（コミュニティースクール）が始まり、PTA活動についても見直しを進めています。学校教育を円滑に実践するには、言うまでもなく家庭と地域との連携が不可欠です。今後も保護者の皆様のご意見をうかがいながら、子ども達にとってより良い学校教育を提供できるよう努力していきますので、是非、今後ご理解とご協力をお願いします。